

# 「ハッピーエンドがいいよね・・・」



おはよう。ゼオラ君。  
そろそろ先程投与した薬が  
効いてくる頃合いかな？  
それでは捕虜は捕虜らしく  
頑張っておおう。

あ…。

は、

嫌ア…。

どき

は

は

どき

どき

待って下さい…  
や…やります!!

やめろ…やめろよ  
ゼオラ…。

元々俺がビルガーで  
突っ込み過ぎて  
ドジっっちゃまったんだ

ん…。

は、

んんん

んんん

は、

は、

俺の所為で  
お前がそんな事  
する必要  
無いんだってばよ!!

ククク…。  
まあ、従わなければ  
君と一緒に捕まった  
君の大事なパートナーが  
大変な事になるだけだがね。



ご機嫌いかがかな？  
アラドII バランガ君。

おっと無理はしない方が良い。  
君の声帯は先程飲んで貰った  
薬で機能しなくなっている筈だ。

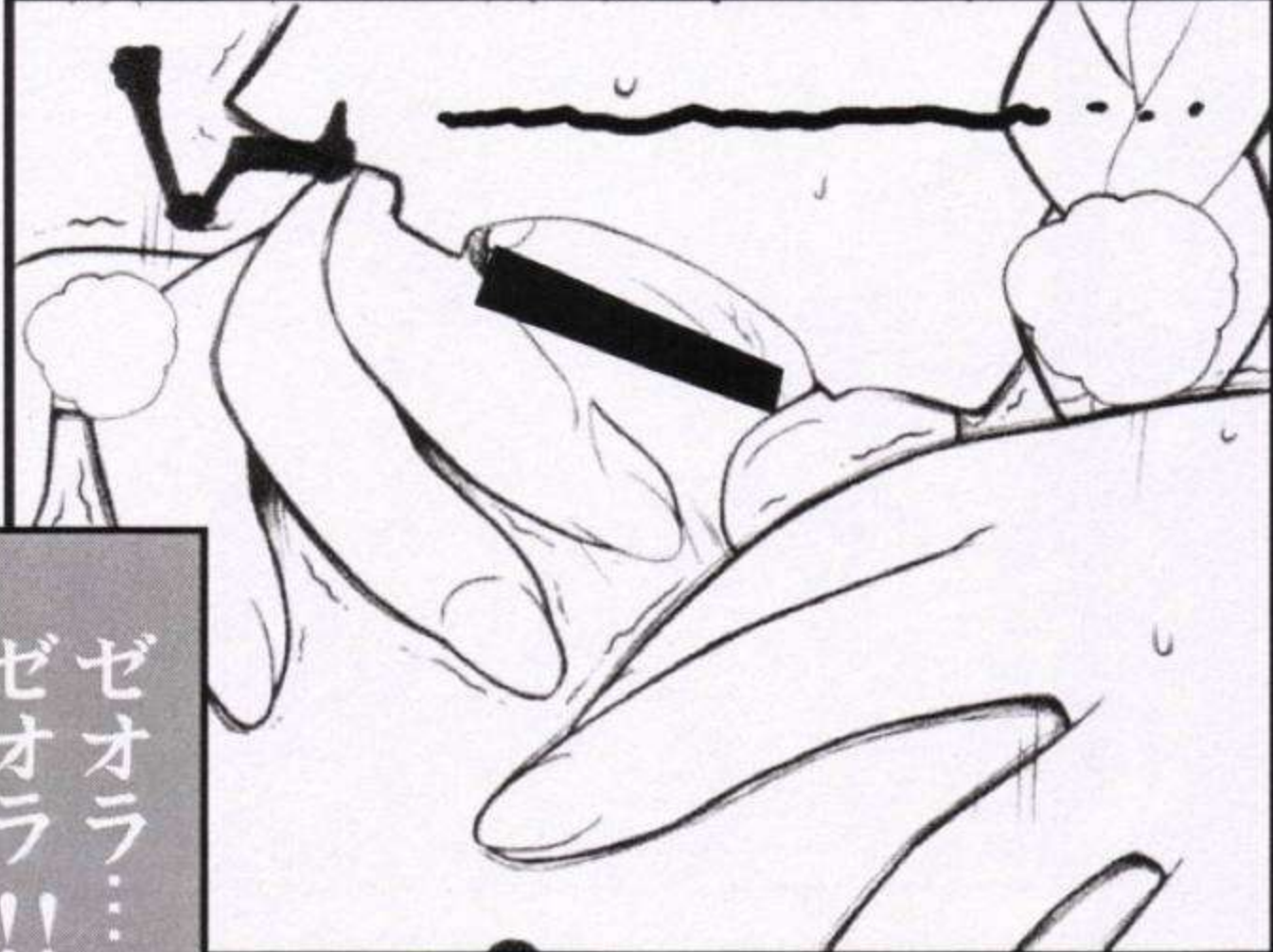
同様にゼオラ君も薬で  
一時的に視覚を奪ってある。  
：フフフ。  
つまり彼女は相手をしているのが  
君だとは気付いていない訳だ。

加えて彼女には  
身体を正直にする薬も  
服用して貰っている。  
ククク・・・。  
まあ、君は素直に楽しみ給え



まあ、薬など使わなくとも  
君の事を盾にしたなら  
ゼオラ君はあっさり言う事を  
聞いてくれたよ。

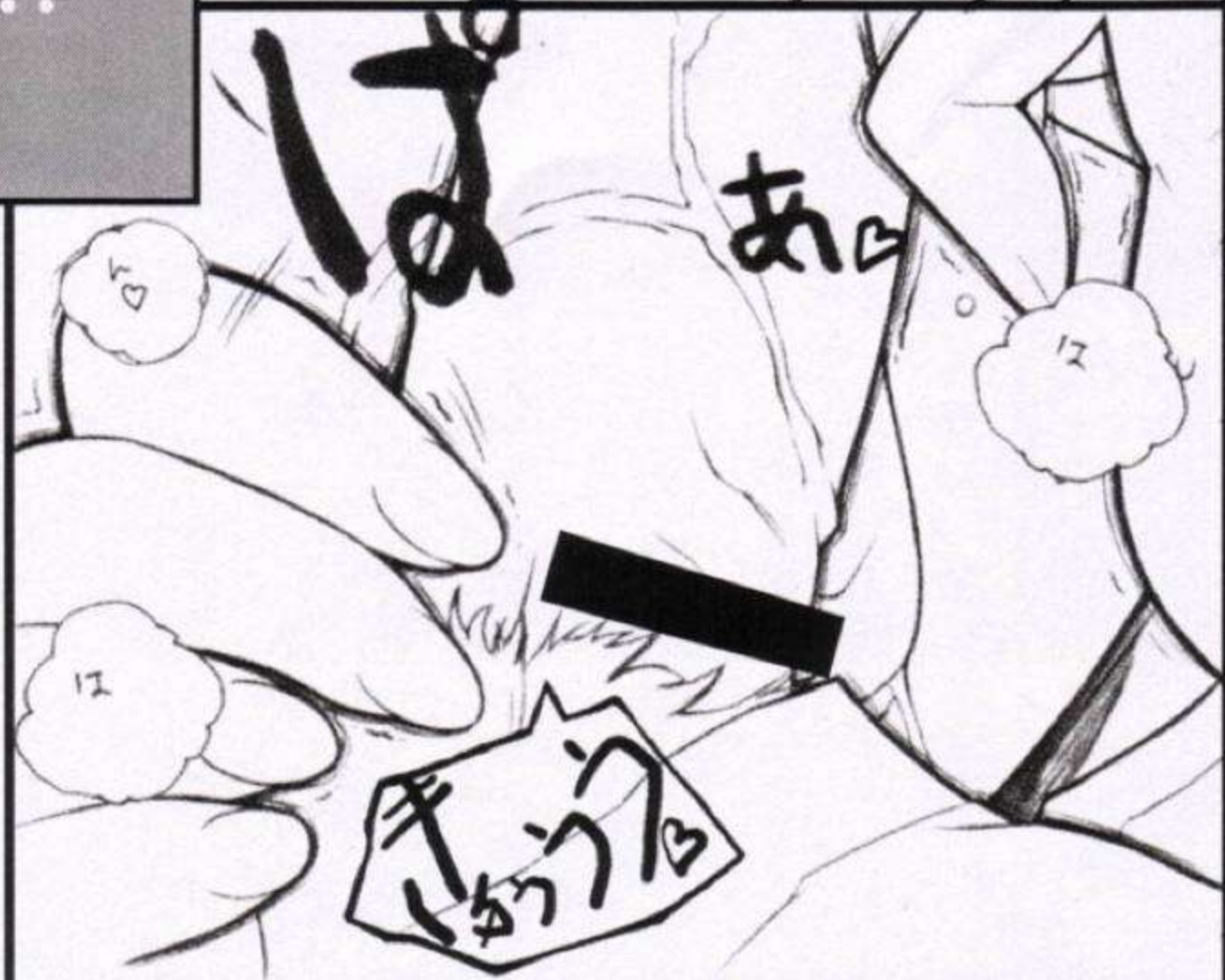
君達の手にかかって  
散っていった我が軍の  
兵達の慰みの為に  
良い声で鳴いてくれ給え。



畜生!!

もっとも君の場合は  
鳴こうとしても  
鳴けないか。ハハハ。

ゼオラ…  
ゼオラ!!



は

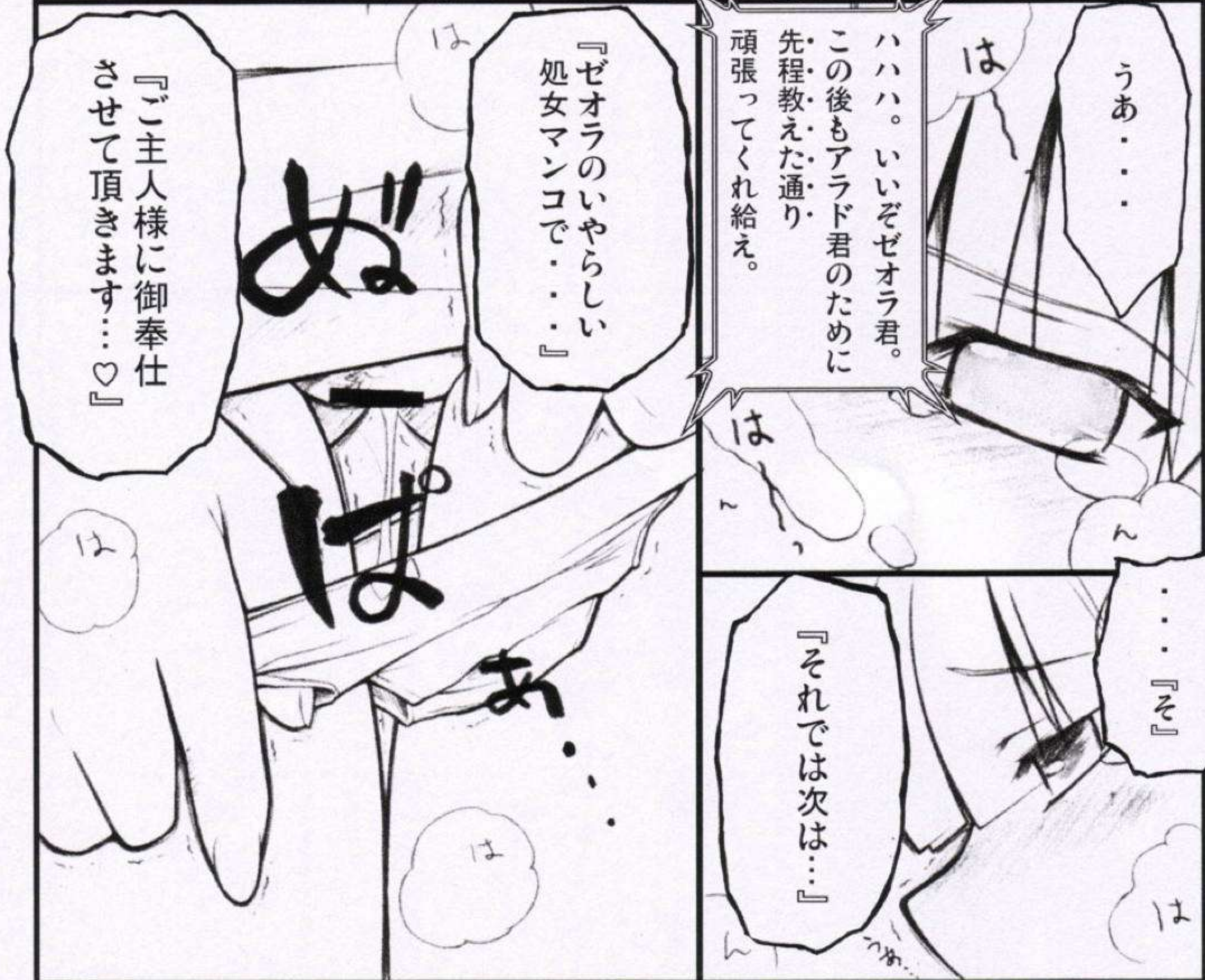
あ

手放すな



お前さん…お前さん…

お前さん…お前さん…



うあ……

は

ハハハ。いいぞゼオラ君。  
この後もアラド君のために  
先程教えた通り  
頑張ってくれ給え。

『ゼオラのいやらしい  
処女マンコで……』

ぬ!!

『ご主人様に御奉仕  
させていただきます……♡』

……『そ』

『それでは次は……』

あ……

は

は

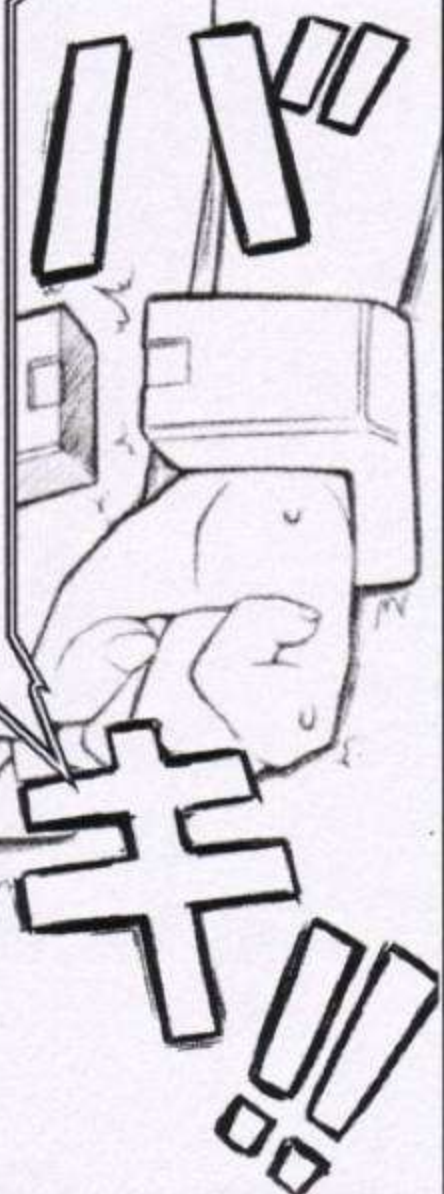
『ゼ：ゼオラは処女なのに  
オマンコをこんな：に  
濡らしている：はしたない  
女の子です・・・♡』



し  
ぱあ

『どうか心行くまで  
ゼオラの処女マンコを  
お楽しみください・・・♡』

ハハハハハ！  
戦意高揚の見世物として  
最高の出来だよ。



君も彼女の命が  
惜しかったら  
はげみ給え。







うああ!!

がくがく

ひ...

ひいっ  
い...痛い!!  
痛いよお...!!

がくがく

ひぎょ!!

がくがく

ぎち  
ぎち

ふ...  
ふ...  
ふ...  
ひ...

ああ...もう私...

ホラホラ。ゼオラ君。  
痛みなんて  
薬ですぐ無くなるんだから。  
もっとご主人様を  
悦ばせてくれ給え。



ひ...

処女じゃ...ないんだ...

は...はい

うあ

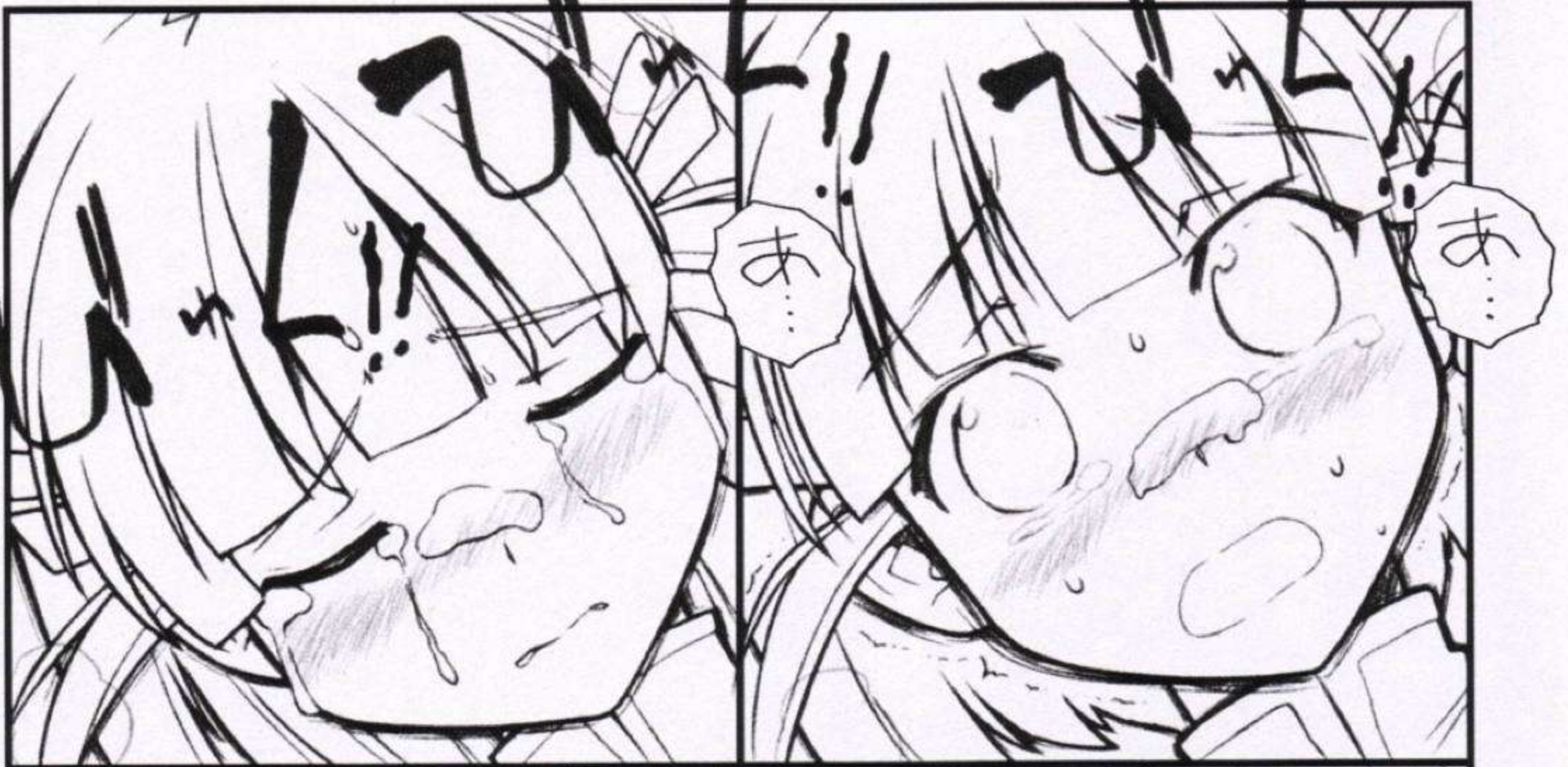


『ご…ご主人様…  
どうぞこのまま  
私の…臆に…』

『ご主人様の  
熱いザーメンを…  
おかけください…。』

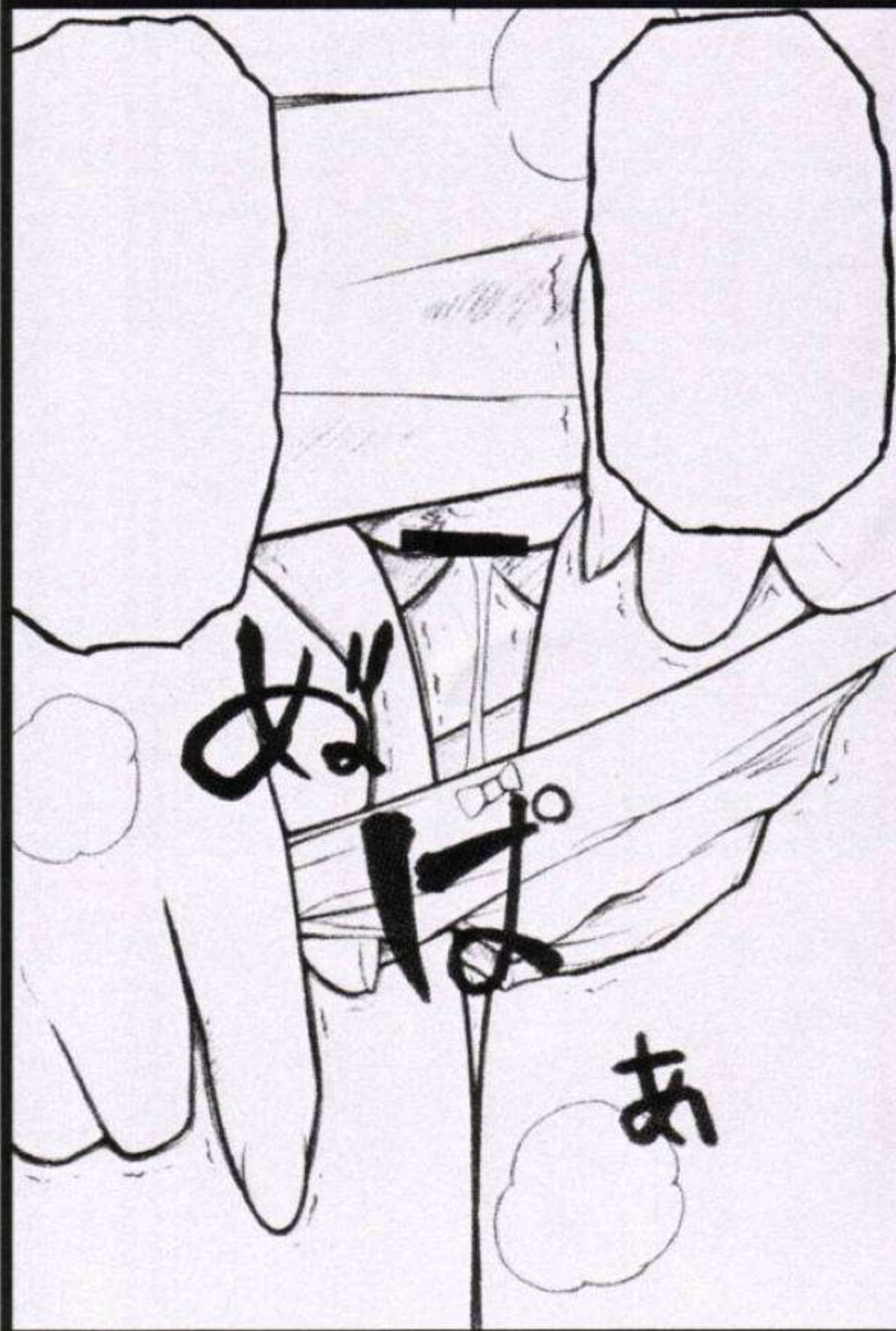






畜生!!

Go To Next Stage



# 奥付

日向恭介

「studio★himawari」

印刷 ポプルス

18歳未満閲覧禁止  
無断転用厳禁